

【発行元】

株式会社ケージーエム

〒360-0162

埼玉県熊谷市村岡306番地1

TEL : 048-536-8113

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「リニューアルファクトリー」は、株式会社ケージーエムが運営する工場・倉庫改修ブランドです。工場・倉庫オーナー様の破損・老朽化対策や、増改築、リニューアルまでトータルサポートをお約束します。お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫改修を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「リニューアルファクトリー」を宜しくお願いいたします！

次世代の生産・物流拠点：スマート工場・倉庫への進化

建築が支えるDX（デジタルトランスフォーメーション）と持続可能性

産業構造が急速に変化するなか、工場や倉庫に求められる機能は「荷物を置く・作業する」場所から、ロボットやデータが主役となる「高機能な情報インフラ」へと進化しています。

最新テクノロジーの性能を最大限に引き出し、長期的な競争力を生むための建築戦略を解説します！



1. 自動化設備のポテンシャルを引き出す「物理基盤」

自動運送ロボットや自動倉庫の導入には、従来の建築基準を上回る精度が求められます。

① **「超平滑床（スーパーフラット床）」**：わずかな段差も許されないロボット走行。センサー誤作動や荷崩れを防ぎ、稼働率を最大化します。

② **「柔軟な空間」**：柱の間隔を広く取る「大スパン設計」採用することで、将来のライン変更や大型設備導入に応えられる、制約のない空間を確保します。

物理基盤の精度こそが、自動化投資のROI（投資収益率）を左右します！

2. デジタル化の動脈を支える「通信・エネルギーインフラ」

全体の「見える化」に向け、建築段階から強固なデジタル環境を組み込みます。

① **「安定した「通信環境」の構築」**：建材の配置工夫や配線ルートの事前確保により、膨大なセンサー群を支える死角のないネットワーク環境を構築します。

② **「省エネ・脱酸素」**：電力・空調を自動制御する「FEMS」導入を前提に設計を行います。高断熱・効率的な「ZEB」仕様を組み合わせることで、ランニングコストと脱酸素を同時に実現します。

通信とエネルギーはスマート工場・倉庫の「血流」です！

設計段階でのインフラ構築が、後付け不可能な運用効率と拡張性を生み出します。

3. 建物の「健康状態」を管理する予防保全

IoT技術は、建物そのものの長寿命化と管理コストの低減にも大きく貢献します。

① 構造物ヘルスマニタリングによる維持管理の効率化

建物に設置したセンサーで微細な振動や歪みを計測し、目視では発見が困難な劣化をリアルタイムで把握します。劣化を早期に発見することで、大規模な修繕が必要になる前に対策を講じ、施設のライフサイクルコストを大幅に抑制します。

② デジタルツインによる施設運用のシミュレーション

建築データをデジタル上で再現する「デジタルツイン」を活用し、空調の気流や人の動線をシミュレーションします。実際の建物で試行錯誤することなく、最適な運用ルールを導き出すことが可能になります。

建物自体を「見える化」することで、メンテナンスは「壊れてから直す」ものから「予測して防ぐ」に変わります。これは、施設の資産価値を永続的に守るための有効な手段です。

まとめ：次世代拠点への投資が未来を切り拓く

スマート工場・倉庫の進化は、単なる設備の更新ではありません。それは、変化し続ける市場や技術を柔軟に受け入れる「器」そのものをアップデートするプロセスです。私たち専門建築会社は、確かな技術と知見をもって、お客様のDXを成功に導くための最適なインフラを提供します。

次世代の拠点づくり、あるいは既存施設のスマート化に向けた改修を検討されている場合は、ぜひ一度、工場・倉庫建築のプロにご相談ください。



工場・倉庫建築に使える
お得なお役立ちレポート↓



お問い合わせは
コチラまで

工場・倉庫改修専門店「リニューアルファクトリー」

(お問合せ窓口：五十嵐)

TEL：048-536-8113

〒360-0162 埼玉県熊谷市村岡306番地1

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
048-536-8113迄ご返信をお願い致します。

案内
不要